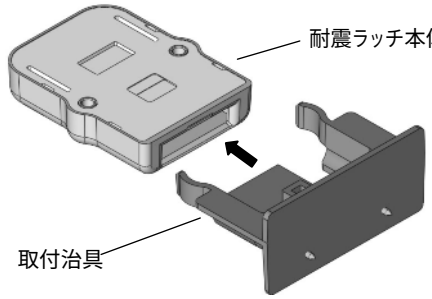
耐震ラッチ　KSL-HD4　取付･取扱説明書

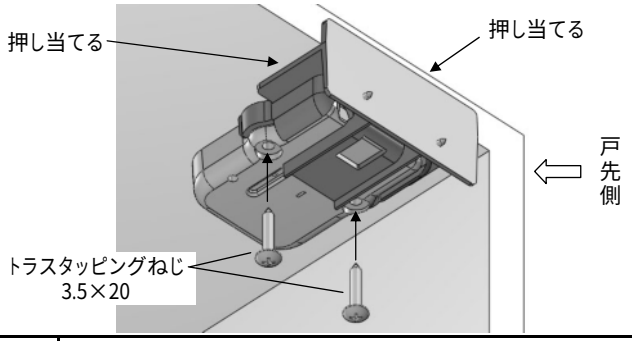
■ 取付場所：キャビネットや収納の開き扉

■ 取付方法

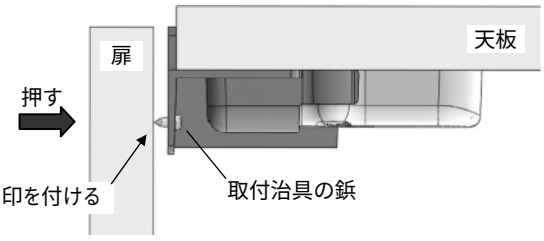
1 耐震ラッチ本体に取付治具を図のようにはめ込んでください。



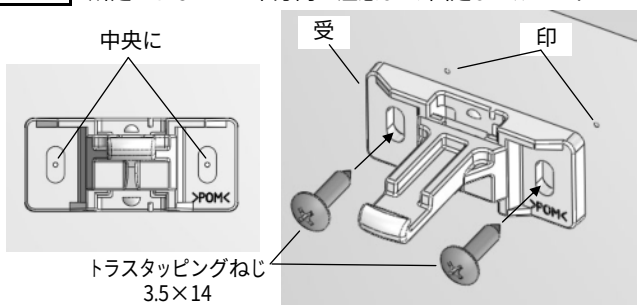
2 取付ける位置（戸先側）の天板前部に、取付治具を図のように当て、所定のねじで固定してください。（パッキンがある時はパッキンが変形しないよう当ててください。）ねじが入りにくい堅い木の場合、キリで下穴を開けてください。



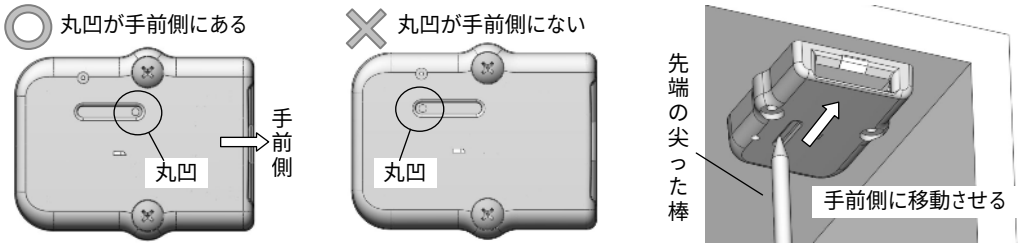
3 耐震ラッチ本体を取付けた状態で、扉を取付治具の鋲に軽く押し当てて、扉に印を付けてください。その印の位置が受の取付け位置となります。



4 鋲で付けた印が、受のねじ穴の中央になるように配置し、受を所定のねじにて上下方向に注意して、固定してください。



5 最後に取付治具を外して完了です。扉を閉める前に、下図に示す丸凹が完全に手前側にあることを確認してください。丸凹が完全に手前側にない場合、扉を閉めても閉まり切りません。また、耐震ラッチは機能しません。この場合、ペン先などの先端の尖った棒を使い、丸凹を完全に手前側に移動させてから扉を閉めてください。



■ 特許出願中

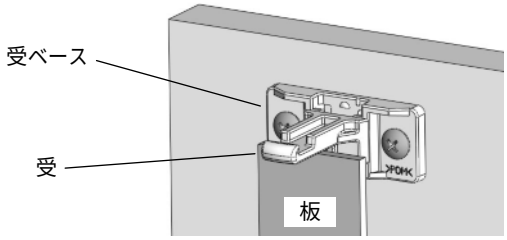
■ 注意事項

- 本体取付場所付近の傾きが前後左右方向で1度以上ある場合、正常に作動しなくなるおそれがあります。
- バネ付スライド蝶番がついている扉にのみ使用できます。
- 巾15cmより小さい扉には使用できません。
- 必ず付属のネジ、取付治具を使用して取付けをしてください。
- 木ネジが入りにくい堅い木の場合、キリで下穴を開けてください。
- 天板の空洞部分など強度の弱い部分に取付けないでください。
- 取付場所に凹凸がある部分に取付けないでください。
- 耐震ラッチや受をむやみに取外したり分解しないでください。
- 耐震ラッチ本体の周辺に磁石など磁力のある物を近づけないでください。
- 収納物が耐震ラッチに当たったり、挟み込まれないようにしてください。
- 炊飯器などの水蒸気や煙が直接耐震ラッチにかからないようにしてください。
- 強い勢いで扉を開けようとした場合、ロックが作動することがありますが、商品の欠陥、故障ではありません。
- 耐震ラッチが作動し、扉がロックされている状態で無理な力をかけないでください。
- ロック時でも扉が約15mm開きますので、小物が落下するおそれがあります。
- 扉を開く際、収納物が一気に落下するおそれがあります。
- 揺れがおさまれば扉のロックは自動で解除されます。
- ロックが自動解除されない場合、「強制解除方法」を参考にしてください。
- 一度でもロックが作動した場合、耐震ラッチに異常がないこと（扉を完全に閉め切り、10～20秒待ってから扉が開くこと）を確認してください。
- 取付･取扱説明書は大切に保管してください。

■ 強制解除方法

- 何らかの原因によりロックが解除されない場合、収納物の落下に十分注意して、下記の方法で強制解除を行ってください。
- 強制解除後は必ず新しい物と交換してください。

ロックが掛かっていても扉を引くと15mm程度の隙間ができますので、その隙間から板や棒などを差し込み、図のように受に下から（または上から）打撃を加えると、受が受ベースから外れます。



■ 免責事項

- 天災時の保証は致しかねます。
- 耐震ラッチは収納物の破損を防止する物ではありません。
- 誤った取付け、使用方法では耐震ラッチ本来の性能が発揮されませんので、誤作動･破損等が発生しましても一切責任は負えません。
- 地震以外の揺れによってもロックが作動しますが、製品の欠陥･故障ではありません。
- 本製品の形状･取付位置･公差は改良のため、予告なく変更することがあります。

■ 材質表示

耐震ラッチ	― POM樹脂
受	― POM樹脂
取付治具	― ABS樹脂